

北海道浮魚ニュース

平成 26 (2014) 年度 9 号

2014 年 7 月 18 日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : <http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 18 日、第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されたので、概要をお知らせします。今回は日本海全域を対象とした漁期後半（8～12月）の予報です。

なお、この予報は国及び日本海側道府県の水産研究機関が参画し、日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のホームページでご覧になれます。

水産庁 (<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/>)

日本海区水産研究所 (<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)

今後の見通し (2014年 8～12月)

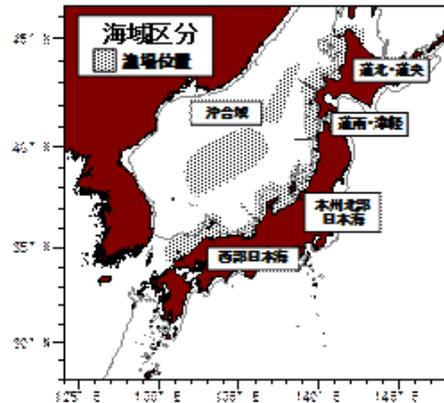
対象魚種：スルメイカ

対象海域：日本海（道北・道央、道南・津軽、本州北部
日本海、西部日本海、沖合域）

対象漁業：主にいか釣り漁業・小型いか釣り漁業

対象魚群：主に秋季発生系群、後半は冬季発生系群も含む

- (1) 来遊量：前年および近年平均を上回る。
- (2) 漁期・漁場：・道北・道央及び道南・津軽では 8 月～9 月は高水温によって漁場が沖合化する。
 - ・本州北部日本海及び西部日本海では近年同様に好漁場が形成されにくい。
 - ・沖合域においては、8 月は大和堆周辺、9 月～10 月は北海道沖に漁場が形成される。
- (3) 魚体の大きさ：近年平均並み。



※前年は2013年、近年は過去 5 年（2009～2013年）のことです。

・来遊量は、6 月下旬～7 月上旬に実施した日本海漁場一斉調査（函館水試調査分は浮魚ニュース第 6 号参照）で資源量指数が前年および近年平均を上回ったことから「前年および近年平均を上回る」と予想されました。

・漁期・漁場は、気象庁による海況予報で今期は表面水温が高いとされていることから、北海道日本海側では「8 月～9 月は高水温によって漁場が沖合化する」と予想されました。

・魚体の大きさは、日本海漁場一斉調査で得られた海域全体の外套長組成から「近年平均並み」と予想されました。

（函館水産試験場調査研究部 TEL：0138-83-2893、FAX：0138-83-2849）

※函館水試は 6 月より函館市国際水産・海洋総合研究センター（函館市弁天町 20-5）内に移転しました